



## 建学の精神

Love God and Serve His People  
「神を仰ぎ 人に仕う」

イエスは言われた。  
「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ」  
これがいちばん大切な、第一のいましめである。第二もこれと同様である。  
「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」  
(マタイによる福音書 22 章 37～39 節)

Seigakuin University and Schools  
**SEIG**

聖学院 校章・マーク  
聖学院創設 90 年とその創設の母体であるアメリカ・ディサイプルス教会の宣教師たちが来日してから 110 年の節目である 1993 年に合わせて、CI（コーポレートアイデンティティ）を導入し、学院のグループ全体を表わす SEIG（スクール・ロゴマーク）を採用しました。

## 学校法人 聖学院

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

TEL：03-3917-8351 FAX：03-3940-3798



## 創立

聖学院は、アメリカのディサイプルス派の日本宣教によって創設されました。聖学院の創設は、1893 年(明治 26)来日したハーヴェイ・H・ガイ博士によります。1903 年(明治 36)東京・駒込に聖学院神学校を設立して事業を開始しました。翌年には北区の滝野川に 4000 坪の校地を購入し、校舎を建て、移転しました。夫人の病気のために、ガイは志半ばで帰国せざるを得ませんでしたが、帰国後もカリフォルニア州パークレーにおいて、太平洋沿岸の日本人伝道に尽力し、一貫して日本とかかわりを持ち続けました。

ガイを助けて働いたのが石川角次郎です。石川は政治・法律を学ぼうと東京大学予備門に進みますが、「人を治むるの学問」でなく「心を治むるの学問」を志して、伝道者になるためアメリカに渡りました。帰国後は学習院で教鞭をとりましたが、ガイに懇願され聖学院に移ります。1906 年(明治 39)聖学院中学校が設立するときに校長に就任しました。石川によると、聖学院は聖なる学院ではなく聖学の院。「聖人＝キリスト者を養成することが、この学校の理想である」と言っています。

女子聖学院はバーサ・F・クロウソン宣教師によって創設されました。クロウソンは秋田、大阪で宣教していましたが、アメリカ本部の意向で日本の女子教育に携わることになり、築地の宣教師館を借りて 1905 年(明治 38)女子聖学院を設立しました。わずか 12 人の生徒に落胆したクロウソンはアメリカのメドバリー博士に手紙で訴えたところ、「イエス・キリストも初めはたった 12 人の弟子を持って始めたのだから」と励まされたといいます。女子聖学院は、1907 年(明治 40)北区の滝野川に移転、1908 年(明治 41)普通学部を併設しています。

## 創立の背景と歴史

ディサイプルス教会 (Christian Church 〈Disciples of Christ〉) は、19 世紀初頭、アメリカの長老派教会から分かれた二つのグループが合同してつくられました。一つはバートン・W・ストーンが説教した「万人救済説」が問題となって長老教会から離脱してつくった〈スプリングフィールド長老会〉のグループ。もう一つはトーマス・キャンベルがアメリカ奥地に伝道旅行に出かけた折に別の派の長老教会の信者たちに聖餐を受けたことが問題となって分派したグループです。超教派主義、非信条主義・新約聖書主義、万人祭司主義を特徴としています。

ディサイプルス教会から最初に派遣された宣教師は、1883 年(明治 16)に来日したジョージ・T・スミス夫妻とチャールズ・E・ガルスト夫妻の 4 人です。彼らは翌年の 5 月から秋田で伝道を始めますが、スミス夫人はその翌年次女を出産後まもなく、30 歳代の若さで天に召されます。ディサイプルス教会最初の殉教者であったスミス夫人を記念して多くの献金が集められ、秋田キリスト教会の会堂が建てられました。

ガルストはアメリカの名門士官学校ウエスト・ポイントの出身で、陸軍大尉を経験した巨漢でした。アイオワ州立農業学校にも学んでいたため、農民たちに牧畜や農業についての助言をすることもありました。東北地方の農民の窮状をつぶさに見るうちに、小作農と地主の貧富の差に社会問題の根を見出します。秋田教会を日本人信徒と新来の宣教師に任せ、自身は山形の鶴岡に転居、仙台、福島へも伝道の足を伸ばしました。1893 年(明治 26)東京に転勤になってからは、土地所有の在り方や、足尾鉍毒事件や利根川治水問題、労働組合運動や普通選挙制といった社会問題に積極的に取り組みました。ガルストは 1898 年(明治 31)風邪がもとで世を去りますが、「私の人生すべてが私の遺言だ」という言葉を残したといわれています。

1903 年(明治 36)〈聖学院神学校〉が設立され、1906 年(明治 39)〈聖学院中学校〉が設立しています。〈女子聖学院〉も 1905 年(明治 38)神学部から始まり、1908 年(明治 41)普通学部を併設しました。ディサイプルス教会では、このようにまず神学校をつくり、その上で普通教育を始めています。これはキリスト教伝道の担い手を養成することが、教育目標の中核にあることを明確な思想としているからです。

女子聖学院は、アメリカではマーガレット・K・ロング・ガールズ・スクールと呼ばれていました。これは実業家のロバート・K・ロングが総計約 10 万ドルもの寄附をしたことに拠ります。信仰熱心なロングの母は、息子が牧師になることを望みます。しかし、実業家になってしまったロングは、事業によって得た収入を必ず神の事業に寄附すると約束して、それを実行したのです。

クロウソンは 1924 年(大正 13)に教頭であった平井庸吉に院長の座を託し、帰国。平井は 1947 年(昭和 22)に天に召されるまで、第二次世界大戦を挟んだ最も困難な時代に院長の重責を担いました。平井は卒業式で「いかなる困難に直面したときも、常に二人の目に見える道連れのあることを忘れないように。一人はイエス・キリスト、もう一人は女子聖学院です」と言っています。



写真上から、女子聖学院中学校高等学校、聖学院小学校、聖学院中学校高等学校、聖学院大学。現在は駒込、さいたま・上尾に幼稚園から大学院までの教育施設と総合研究所を有し、アメリカ・ジョージア州に聖学院アトランタ国際学校があります。